

番 号	15 請願第 3 号 (即 決)
受理年月日	平成 1 5 年 3 月 7 日
件 名	医療改悪の実施凍結と社会保障の充実を国に要請する「意見書」採択について
提 出 者	東京土建一般労働組合三鷹支部 執行委員長 橋本 昇
紹介議員	岩田 康男、杉本 英騎
要 旨	
<p>日頃、貴職におかれては市民の命と暮らしを守るためにご奮闘されていることに敬意を表します。標記の件につきまして、下記の政府あて事項を内閣および関係省庁に「意見書」として提出して下さるようお願いいたします。</p> <p>〔請願趣旨〕</p> <p>昨年 7 月政府与党は国民の反対を押し切って、健康保険改悪法を成立させました。世論調査でも 6 割以上の国民が健康保険法の改悪に反対し、3,000 万筆にもおよぶ反対署名が国会に届けられました。しかし、昨年 10 月には高齢者の窓口負担を定額から定率にし、今年 4 月にはサラリーマンの窓口 3 割負担を実施しようとしています。2003 年度予算では国民負担増、給付削減は 2 兆 7,400 億円に達しようとしているのです。</p> <p>私たちの組合は国民健康保険組合を設立して、仲間の努力で四半世紀の間、運営してきました。しかし、相次ぐ医療保険制度の改悪でその運営が危機にさらされています。不況の時、国の責任で社会保障制度を拡充すべきです。国民の命と暮らしを守り、ひいては景気回復にもつなげるため、私たちは医療、年金など社会保障の充実を求めます。</p> <p>〔政府への要請事項〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 4 月から予定されている健保本人 3 割負担を凍結してください。 2 高齢者の窓口負担増を昨年 10 月の改悪前に戻してください。 	